

学科名	生物環境化学科・電気通信工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科				
科目名	進路指導論				
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	前期
必修・選択の別	教職必修				
担当者	岡野亜希子				
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の実態や高校教育現場の抱える問題について、理解し、説明できる。 ・高等学校の進路指導の役割や内容について、その大要を理解し、説明できる。 ・高等学校の進路指導の具体的方法について理解し、説明できる。 ・高等学校の生徒指導の具体的問題について理解し、その指導法を実践できる。 				
日程と内容	第1回 オリエンテーション：授業の概要、成績評価について 第2回 高校生と高校教育の現状 第3回 高校生の進路を取り巻く問題 第4回 進路指導の役割と内容 第5回 進路指導の実態 第6回 進路指導に関する演習 その1 第7回 進路指導に関する演習 その2 第8回 進路指導に関する演習 その3 第9回 生徒理解の方法と技術 第10回 学校教育相談について 第11回 学校進路相談について 第12回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その1 第13回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その2 第14回 生徒指導の具体的方法に関する演習 その3 第15回 まとめ 定期試験				
成績評価基準	定期試験		実技		
	臨時試験		部外評価		
	報告書・レポート		プレゼンテーション		50%
	課題 演習	50%	計		100%
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から進路指導論の当初の目標を達成したとみることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育課程において、生徒指導や進路指導をはじめとしたキャリア教育が果たしている役割について理解できる。 ・近年のキャリア教育政策の方向性と労働市場との関係について理解できる。 ・生活指導の具体的な場面について考え、指導の計画を立てることができる。 				
反省点	毎年模擬授業への十分な時間の確保が課題となっている。今年度は昨年度よりもさらに講義時間内に事前指導にかける時間を短縮し(講義時間内に終わらない分は各自の課題とした)、その分少し多めに準備の時間をとることができた。ただし、受講生全員の模擬授業時間を確保するためには、一人5から7分が限界だろうと思われる。次年度以降も引き続き工夫していきたい。				
来年度の計画	模擬授業自体はおおむね好評だったので、次年度も実施する予定である。				
授業評価中間アンケートに対するコメント	行っていない。				
授業評価アンケートに対するコメント	反省点と来年度の計画に書いた通り、記述内容は来年の参考にしたい。				
履修登録者数		定期試験 受験者数		合格者数	
				合格率	0%